



訪問介護、新年度を迎えて

PART・3



看護婦 岡山 節子

三恵ホームでは、平成四年十月より独居老人、及び虚弱老人を対象に訪問介護を開始し、更には来年度のデイサービス開設に向けて、一人でも多くの方々に喜んで利用して頂ける体制づくりに努めています。

在宅の独居老人や高齢者宅を防犯・防火のため消防署員や派出所の警察官が見廻したりする昨今、福祉施設である三恵ホームにおいても地域の役に立ちたく、今年度より十全医療学院附属病院と協力して、医療と福祉がティアアップした在宅介護を進めて行きたいと思っております。

なお、理学療法士も今年より専任者を配置して、入所者へのリハビリに在宅のお年寄りに対する訪問介護に当って頂くべく一層のパワーアップが期待されております。

三恵ホームは地域の皆様方の施設として、何時でも、お気軽に御利用されることを心から願っており、介護・医療・リハビリ・栄養等どんな小さなことでも御相談下されれば幸いです。

そして、お年寄、障害者一人ひとりが地域で出来るだけ自立した生活を維持していくことが可能となる福祉サービスの向上に、全職員が努力して参りますので、どうか宜しく願います。



感染症を考えよう

肝炎とMRSA

ホームでは80人の集団生活。風邪の流行や皮膚疾患など“うつす”ということは、入所者、職員とも心配で困ったもの。今話題の肝炎とMRSAも例外ではありません。「肝炎はどんなもの？」



「MRSAって何？」というところから2月3日と10日に十全附属病院の向井二郎先生による肝炎、久門泉先生によるMRSAの勉強会が行なわれました。

肝炎（主にC型肝炎）

○輸血や血液汚染、注射針事故などによりおこる。血液中ウイルス量は少ないためB型に比べて感染の危険性は低い。

○日常生活での予防法は？

★手洗いの励行：石けんと流水で。

★血液に触れないようにする：皮膚に血がついただけでは感染しない。

★食器、衣類：十分に洗い流す。

MRSAメチシリン耐性黄色ブドウ球菌

○皮膚、粘膜、腸管などに常在している。小児や老人、寝たきり、抵抗力の弱い人などが発症しやすい。

○予防法は？

★抗生物質の適切な使用。

★手洗いの励行。

★MRSA患者の早期発見と隔離。

★保菌者のスクリーニングと処置。

★適切な滅菌消毒の徹底。

★正しい知識を持つこと。

とにかく、第一に手洗い、そしてむやみに恐れることなく、施設内に理解を普及させることを考え、今後に生かしていくよう努力していきます！